

# けんころ

## 岐阜県総合医療センター

- 平成25年11月発行
- 平成25年 秋号
- 発行責任者 渡辺佐知郎
- 編集 総合医療センター広報委員会

# 院長ご挨拶

岐阜県総合医療センター

理事長兼院長

渡辺 佐知郎



日本は世界に先駆けて超高齢化社会を迎えました。治療や介護を必要とする人は増え、多くの人が健康を維持するために努力されており、私ども岐阜県総合医療センターは岐阜県の基幹病院として急性期、慢性期の病氣と闘い皆様の健康をお守りする努力をしております。

平成18年に創立された岐阜県総合医療センターと名称を変え、同時に新築した本館ビルとともに情報交流棟、管理棟も改築し、駐車場も整備し、内容も充実するように努力してまいりました。

た。このような施設面の改善と合わせて様々な医療機械を整備し、特に高度な放射線治療施設である手術支援ロボット（ダ・ヴィンチ）などを整備してまいりました。カテーテルによる内科的治療と手術による外科的治療が同じ部屋で出来るハイブリッドセンターも完成しました。従来より私どもが力を入れているのは次の7つの分野で、救命救急センター、母とこども医療センター（小児医療センター、新生児医療センター、総合周産期）、そしてがん医療センター、心臓血管センター、女性医療センターを中心とした医療です。最近ではなるべく入院の負担を減らし、外来で手術や画像診断検査などをする機能も日帰りで求められますので、10月1日より総合外来センターを8つめのセンターとして開設し、より総合的な外来を目指します。その日に診断、治療できるものは外来で行い、皆様のご相談にも今まで以上にきめ細かく対応できるように外来機能を充実させます。特に最近多くなった心の病氣の精神科の外来も、心身症などを含めて総合的な精神科医療を目指します。そして平成28年1月には本館に隣接して重症心身障がい児の「重心病棟」も完成いたしました。これからは岐阜県総合医療センターは、お母さんのお腹にいる時から100歳以上まで総合的に医療を行える仕組みを充実させて、皆様のお役に立っていききたいと存じます。救急医療も「断らない医療」、敷居の低い病院、そして「岐阜県総合医療センターに行けば何とかなる」という安心感を県民の皆さんに持って頂けるよう常に皆さんの健康をお守りしたいと考え、職員一同努力していく所存でございますので、岐阜県総合医療センターを今後とも宜しくお願い致します。

### 「総合外来センター」開設のご案内

総合外来センター部長 直原 修一

平成25年10月1日より当センターに総合外来センターを開設いたしました。病院は入院と外来から成り立っていますが、最近、外来の機能強化がうたわれ、各診療科の外来のほかに専門外来やワクチンセンター、入院前検査センターなど多くの部門が活動しています。当センターの総合外来センターに大切な5部門を編成いたしましたので、その概要をご案内いたします。

- 1 専門外来部…専門外来を取りまとめる専門外来部とし、外来診療の高度専門化に対処できるようにしました。
- 2 ワクチンセンター部…ワクチン後進国といわれているわが国ですが、日常のワクチン接種に加えて、海外旅行時の接種、小児や成人のワクチン治療などの新しい診療にすばやく対処できるように整備します。
- 3 専門ドック部…脳ドック、がんドック、心臓ドックなどの専門ドックを準備中です。
- 4 入院前検査センター…従来は入院した後に行われていた検査、手術の説明などを、入院する前の外来通院時に行うことで、入院や手術などに対する不安をより少なくしようとするものです。また、入院期間の短縮にもつながりますので、ベッドの効率的な運用が可能になり、より入院しやすくなります。
- 5 総合相談センター…診療のみにとどまらず、病氣についての悩み事や心配事に、医師、看護師、ソーシャルワーカーの専門職がご相談に乗るためのものです。

今後、外来日帰り手術や、がん化学療法・放射線治療などの通院治療の必要性がより高まり、外来機能のさらなる充実が求められていますので、総合外来センターの果たす役割も重要になってくると考えられます。皆様の一日も早いご回復のお役に立ちますよう担当者一同頑張りますので、どうぞよろしくお願いたします。



# ロボット支援手術のご紹介

岐阜県総合医療センター 泌尿器科部長 高橋 義人



当センターでは、今年2月に、最新式の手術支援ロボット「ダ・ヴィンチS i」を導入しました。これは、昨年10月に薬事法上の承認を受けた手術支援ロボットで、極めて高い能力を有します。

この手術支援ロボットを用いて保険の対象となる手術を行うには施設認定を受ける必要がありますが、当センターは導入にあわせて申請を行い、認定施設として認められました。



今年3月23日に最初の手術を行い、以降半年で29人の患者さんの治療を完了しました。従来の腹腔鏡手術と比べて患者さんの回復は早く、入院期間も短くなっており、この手術支援ロボットを用いた手術の素晴らしさを実感しています。

現時点で、わが国において保険の対象となっている手術は、前立腺がんに対する前立腺悪性腫瘍手術のみですが、今後、腎がんに対する腹腔鏡下腎部分切除術、胃がんに対する腹腔鏡下胃切除術など、他の手術への展開を検討・準備中です。

# 小児集中治療室（小児ICU）

小児医療センター 桑原 尚志

当センターでは、このたび、岐阜県内で初めて「小児集中治療室（以下 小児ICU）」を整備しました。小児ICUとは、小児の重症患者に対し集中治療を行う施設です。

幼児の死亡原因のトップは、誤飲、風呂での溺水といった不慮の事故であり、その対応には小児ICUの整備が不可欠とされています。しかしながら、わが国の小児ICU（独立した看護単位を持つもの）は、平成24年時点で22施設、総病床196床のみであり、東海3県にはほとんど存在しないのが現状です。



今回の小児ICUの整備により、当センターでは、他の医療機関からの小児救急患者の受け入れ要請に、これまで以上に手厚く対応することが可能となりました。また、今回2床の稼働を開始しましたが、人材の育成を行い、近い将来6床にまで増やす予定です。

当センターではこれまで、あらゆる小児救急患者を断らない事を旨とし、24時間365日体制の小児急病センターの運営（平成21年8月から）を行うほか、岐阜・中濃圏域の小児救急の最後の砦としての機能を果たしてきました。小児ICUの整備は、当センターの体制をさらに強化するものです。今後も、地域の小児救急においてさらに大きな役割を果たすべく、当センターの機能をフル回転し、全力を尽くす決意です。

駐車料金につきましては、近隣他病院を参考に設定しておりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。なお、手術日当日の他、病院側からご家族に来院を求めた場合は無料とさせていただきます（患者ごとき一台）。



回答

駐車場が有料なので、手術をしている家族の分だけでも、無料にしてほしい。



質問

ご意見ありがとうございます。眼科など特殊な診療科を除き、出来るだけ配慮していきたいと思っております。



回答

診察の呼び出しは、名前でなく番号にしてほしいです。プライバシー保護のため。



質問

岐阜県総合医療センターでは、皆様方のご意見、ご提案を参考により良い病院運営に努めて参ります。



## ハイブリッド手術室の整備について

高度先端医療センター部長 荒井 正純

当センターでは、今年7月から「ハイブリッド手術室」の稼働を開始しました。ハイブリッド手術室とは、内科的治療と外科的治療のどちらにも対応できる手術室です。

これにより、従来であれば外科手術しか選択肢が無かった病気に対し、内科的治療を組み合わせる治療が可能となり、治療の選択肢の幅が広がりました。例えば、大動脈弁人工弁置換術において、カテーテルを用いた血管内からの手術により、患者さんの身体にかかる負担が少ない治療を行うことが可能となります。

このハイブリッド手術室は、「医療のレベルに地域格差があってはならない」という当センターの理念に基づいて整備されたもので、現在、岐阜県内でハイブリッド手術室を有するのは当センターのみです。このメリットを、地域の方々に少しでも還元していきたいと考えています。



## エキシマレーザーについて



当センターでは、今年7月30日、岐阜県内で初めて「エキシマレーザー」による冠動脈形成術を実施しました。

エキシマレーザーとは、血管内を通すカテーテルの先端からレーザーを照射し、血栓等を分子レベルで破壊し、蒸散させる機器で、今年6月に当センターに導入されました。照射されるレーザーは熱が発生しないため、血管を傷つけず、安全な治療を行うことが出来ます。また、蒸散した血栓等は、末梢で詰まる危険性の少ない、5～7ミクロン程度の微小な断片に分解されます。

このエキシマレーザーにより、これまでは治療困難であった、冠動脈バイパス術後病変、多量血栓性病変、難治性再狭窄病変などの治療が可能となり、治療の幅が広がります。

## 新型自動精算機を導入しました

診察後のお支払いをスムーズ（待ち時間の短縮）に行っていただくため、最新の自動精算機を3台導入しました。

「使い方がわからないから」と最初は敬遠される患者さんも一度使っていただくと、「早くて便利になったねえ」と驚かれることが多いようです。

クレジットカードでのお支払いも可能です。（ただし、暗証番号入力が必要です。）

支払いの際には、是非一度、自動精算機をご利用ください。



## 看護部からのお知らせ

当センターでは、医療の高度化・専門化に伴い、看護の現場においても専門看護師、認定看護師等の資格を取得し看護の質の向上に取り組んでいます。現在、3名の専門看護師と15名の認定看護師が在職して、それぞれの分野で活躍しています。今回は、「集中ケア認定看護師」の取り組みを紹介します。

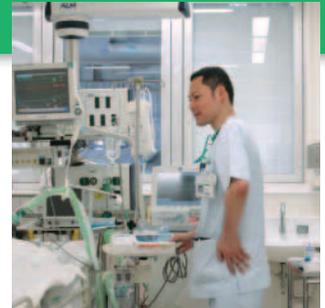
## 重症患者さんの回復への援助

集中ケア認定看護師は、重い病気や事故などによって集中治療や救急治療を必要とする患者さんとそのご家族に対して看護ケアを行っています。この看護ケアを集中ケアと言います。

患者さんの多くは、呼吸や循環が不安定であり、身体的にも精神的にも苦しい状況にあります。このような重症患者さんの全身状態を観察し、早く良くなることを目指したケアと患者さんを支えるご家族の精神的苦痛に対するケアを行っています。

当センターには、救命救急センター（ICU・救急病棟）がありますが、集中ケアを必要とする患者さんは救命救急センターだけでなく、どの病棟にもみえます。医師をはじめとして救命救急センター看護師と病棟看護師、薬剤師、その他医療スタッフとが協働し、患者さんが継続した看護を受けられ、早く元の生活に戻ることができるように日々看護に努めています。

集中ケア認定看護師として、最新の医療技術、看護ケアを「安全」に提供できるように、科学的根拠に基づいた看護が行えるよう、自己研鑽と看護の質の向上に励んでいます。



いんこうは

## 栄養管理部です

第24回

今回は動脈硬化や認知症などに効果があると言われる栄養素、DHA（ドコサヘキサエン酸）について紹介します。

DHAはn-3系脂肪酸と称される魚油の一種です。脳の重要な構成物質であり、また神経伝達に必要であるなど様々な役割のあるDHAですが、ヒトの体内ではほとんど作られず魚以外の食品にはあまり含まれていないため、魚油の名前の通り魚を食べることが最も効率良く摂取する方法となります。1日の目標量は1000mg以上となり、魚を食べることを習慣付けましょう。

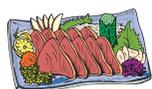
DHAを特に多く含む魚をご紹介します。脂の乗った青魚が多いですね。

### 魚のDHA含有量（生魚・可食部）

サンマ	1尾80gあたり1360mg
ブリ	1切80gあたり1360mg
ウナギ	1串100gあたり1100mg
カツオ（秋獲り）	たたき6切100gあたり970mg
イワシ	1尾70gあたり910mg

また調理方法によっては脂が落ちてDHAが少なくなってしまう。

生・刺身 損失なし  
焼く・煮る 約20%の損失  
揚げる 約50%の損失



1日のDHAの目標量を一尾で摂取できるサンマは秋が旬の食べ物の代表です。当院でも10月行事食「秋の味覚」でサンマをメインディッシュとした献立を提供いたしましたので紹介します。

- ・きのこご飯
- ・サンマのかば焼き
- ・秋野菜の煮付け
- ・茶碗蒸し松茸乗せ
- ・栗とさつまいものきんとん
- ・富有柿



※献立は身体状況や病状に応じて変更となりますのでご了承ください。

### 寄付

平成25年7月に、患者さんより、1件の寄付金を頂きました。大切に使用させていただきます。ありがとうございました。

### 編集後記

広報紙「けんこう」第26号をお届けします。今後も、皆様のお役に立つ情報をお伝えしていきたいと考えております。ご意見、ご要望がありましたら、お気軽にお寄せください。



岐阜県総合医療センター 広報委員会  
〒500-8717 岐阜市野一色4丁目6番1号  
TEL.058-246-1111 FAX.058-248-3805  
Eメールアドレス info@gifu-hp.jp  
ホームページアドレス http://www.gifu-hp.jp